

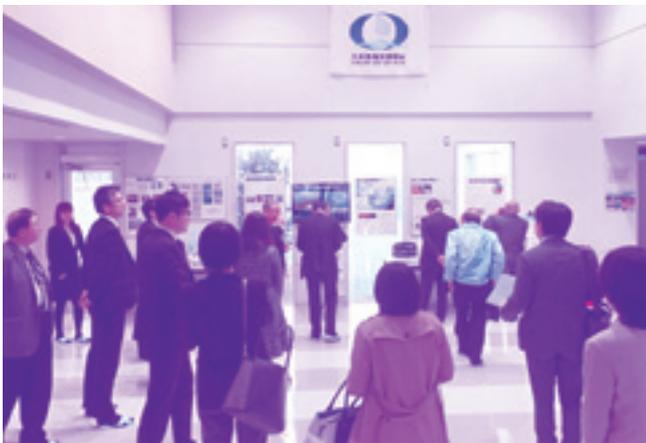
久米島町と日本電気株式会社との 包括連携協定

1月19日(金)、町と日本電気株式会社は“夢つむぐ島”の実現に向け、安全・安心な社会づくりの貢献のため「包括連携協定」を締結しました。本協定に基づき両者は、人口減少を含む課題解決などに対し、共創・連携を図っていきます。

翌日20日には、本協定の取り組みの一環としてNECレッドロケットのOG、ブルーロケットのOBによるバレーボール教室を開催しました。教室は、小中学生対象の午前の部、高校生・一般の部を対象の午後の部で開催されました。午前・午後の部ともにプロの選手が普段行っているようなウォーミングアップや練習などを体験し、一流の技術を学びました。短い時間でしたが、子供たちにとっては元全日本代表の選手と一緒にバレーを行えた貴重な時間となりました。

NECによるこれまでの活動

- ・久米島高校での先端技術の体験授業
- ・小学生へのネット安全教室
- ・産業まつりへのブース展示及びアンケート実施
- ・久米島特産品の社内での販売



海洋研究開発利活用をテーマに交流 町、八戸市議会、JAMSTEC

国立研究開発法人海洋研究開発機構(JAMSTEC: 文科省所管)の研究成果活用を推進する八戸市議員連盟(橋本美洋会長ほか13名)とJAMSTEC役員や職員らが1月9日~10日の日程で久米島を視察しました。海洋深層水利用プロジェクトの関連施設等の視察のほか、JAMSTECが調査に携わっている久米島西方沖の海底火山群調査など、海洋研究開発に関して意見交換会と交流会を開催しました。これを機会に両地域、団体の情報交換などを継続していく。

県議会総務企画委員会が 久米島を視察調査

沖縄県議会総務企画委員会の渡久地委員長ほか8名は1月17日、18日の両日、久米島を訪れ視察調査を行いました。現地視察では、海洋深層水関連施設や家畜セリ市場、じんぶん館などを訪れました。初日に行われた意見交換会では大田町長らが参加し、久米島町の現状などを話し合い、町からは課題となっている「海洋深層水取水設備の増強・研究体制の強化」「那覇=久米島間の航空運賃の低減」など7つの項目について説明し、解決への要望を行いました。

